

Realforce キーボード

Topre

キーボードは入力する為の道具。多機能なんて必要ない。
会話するキーボード、Realforce シリーズ・ラインナップ

Realforce 106



Realforceの標準機。キーの重さを微妙に変化させたことにより、手に馴染んだ、自然なキータッチを実現。まずは触れてみて下さい。全てはこのキーボードから始まりました。

Realforce 106S



全てのキー荷重を最軽量に設定したSの魅力。
打っていることさえ忘れそうになる超ソフトな打鍵感覚。
これを知ったら、もう、昔には戻れません。


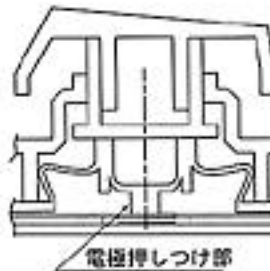
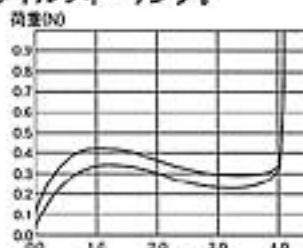
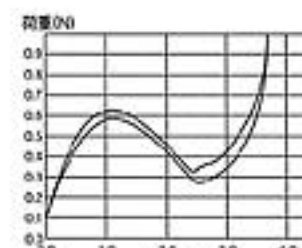
Realforce 101 **New!**



待ち望まれたASCII配列がついに登場！
Realforceのキータッチと、すっきりした配列。
堪能して下さい、その絶妙な調和を。

Realforce が高速・長時間入力に最適な理由

(Realforce とパソコンの付属キーボードを含めた市販キーボードとの比較)

項目	Realforce	市販されている一般的なキーボード
スイッチ方式	・信頼性と耐久性に優れています。 静電容量方式（無接点）	メンブレン方式（有接点）
キーを押す重さ	・指への負担が少なく疲れにくい設定です。 主要部が 45g で小指入力するキーの一部は 30g になっています。 （S は全キー 30g です）	全キー約 50～60g と重めになっています。
キーを押す感触	・なめらかな感触です。 押し込む必要がなく荷重は全ストロークにわたって自然に変化します。	ベコベコした感じでさらに押し込む必要があるため蓄切れの悪い不快な感触です。
キーの形	・高速入力に適した形です。 横から見た形が指の動きに合わせて列毎に異なるステップスカルプチャータイプです。	横から見た形が全て同じになっているステップタイプです。
入力特性	・途中で止めても二重入力がありません。 スイッチが入る位置と切れる位置に差（ヒステリシス）を設けているためチャタリングが発生しません。	接点が接触してスイッチが入る方式の為、キーを途中で止めるとスイッチが入ったり切れたりして二重入力になる可能性があります。
同時押しへの対応	・同時押ししても全て入力されます。 Nキーロールオーバー対応なので高速入力時に同時押しの様な入力をしてもちやんと入力されます。プロのオペレーターにも安心して御使用いただけます。	キーを同時押しした場合には3キー以上は入力されずに無視されます。
入力部の構造	・荷重特性優先のシンプルな構造です。 荷重的影響がない円錐スプリングを押し下げるだけの構造です。この為ドームは荷重特性優先で設計されています。 	外側と内側のダブルドーム構造になっています。内側の逆ドームにある凸部でシートの電極を押しつけます。これが不快な荷重特性の原因です。 
荷重特性	・指に優しいソフトタクタイルフィーリング。 荷重の変化がなだらかで十分なストロークを感じることが出来ます。もちろん入力に底打ちは不要です。 	短時間で荷重が変化するのでベコベコした感触です。入力後は急激に荷重が増加するためストロークがとても短く感じられます。 

仕 様

項目	仕 様
ストローク	4.0mm
押下特性	30g、45g、55g ソフトタクタイルフィーリング（Sは全キー30g）
インターフェース	PC（PS/2）キーボードインターフェース
ケーブル長	約 1.5m
外形寸法、重量	456mm（幅）× 169mm（奥行き）× 39mm（高さ）、約 1.4kg

●本カタログに記載の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

・ご用命は下記の販売店へどうぞ

Topre 東プレ株式会社

電子機器部

〒229-1133 神奈川県相模原市南橋本3-6-7

TEL 042-772-8114(ダイヤルイン) FAX 042-772-8649

東プレ(株) URL <http://www.topre.co.jp/>

E-mail realforce@topre.co.jp

2003.6